

一般国道9号「北条道路」整備促進期成会

本日は、一般国道9号「北条道路」整備促進期成会の総会を開催しましたところ、多くの会員の皆さまご出席の上、開催できますこと感謝申し上げます。また大変お忙しいところ、湯原衆議院議員をはじめ、また後でご紹介させていただきますが、多くの来賓の皆さまにご出席いただきました。誠にありがとうございました。

現在、令和8年度の開通を目指し、着々と工事が進んでいるところです。しかしながら先日、地盤の軟弱や埋設物について、倉吉河川国道事務所の方から工事作業に苦慮している旨の報告がありました。工期について心配のところもあり、先日、東京でありました「全国高速道路建設協議会第60回総会」の後に県選出の国会議員のところに行った際にも、工期についての重ねての要望を行ったところであります。

この道路が開通すると交通の便が良くなり、多くの方がこの地を訪れることになります。観光交流人口が増加し、中部の観光の活性化が図られます。また移動時間の短縮、輸送の効率化により、企業進出が促進されます。さらには、救急医療施設への搬送時間短縮など「命の道」として、貢献が期待されます。

また鳥取県では、この周辺において、広域的な防災拠点の検討が進められてお

り、災害時の広域的な応援受け入れや物流の拠点として、期待されています。

ただし、通過交通となってははいけません。

中部地域には魅力ある温泉地・観光地があります。令和7年3月開館予定の「鳥取県立美術館」や令和7年4月開業予定の「道の駅ほうじょう」、令和9年の新築移転予定の「青山剛昌ふるさと館」など中部の観光や産業を発信し、目的地としてここに来ていただく、地元の経済の発展や活性化につながるよう取り組みを進めていく必要があります。

そして、これらの実現には、道路予算の確保やミッシングリンクの早期解消、また令和7年度が「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の最終年となりますので、今年中に国土強靱化実施中期計画を策定し、必要な予算確保していくなど要望していく必要があります。

高速道路は、つながってこそ効果を十分に発揮するものです。

一日も早く開通するよう、皆様方のご協力をいただきながら取り組んでいきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

なお、事前にご報告をさせていただいたところではありますが、本期成会の思い・機運醸成について、日本海新聞に掲載いたしました。費用については、本日の会で了承を得てからというのが本筋ではありますが、この後、会の中で説明いたしますが、時間等の都合上、ご理解願いたいと思います。

本日の会が有意義な会となりますことを祈念し、開会にあたってのあいさつ
とします。

令和 6 年 7 月 5 日

北栄町長 手嶋俊樹